

ときでも少しずつ修正しながら、調子を取り戻していくんでしょね。さて、全米オープンでは、予選を勝ち上がって、突破するのはなかなか大変だったと思うのですがいかがでしたか。

西岡 小さいころから出たいと思っていた大会ですので、予選に出場できてとてもうれしく思いました。実は1回戦ではどう打っているのか忘れるくらい緊張していましたが、そんな状態でもすごくいいプレーができて、試合後、コーチからはそうは見えなかったと言われました。2回戦では1回戦より自分の思ったプレーができました。

市長 本戦の雰囲気はいかがでしたか。

西岡 世界トッププレーヤーのフェデラー選手だとか、錦織圭選手などと、同じトーナメントに出場しているということ自体がすごいことだなと思いました。

市長 全米オープンでは、錦織圭選手が準優勝され、日本中がテニスに対してとても盛り上がりを見せています。留学先が同じ錦織選手とはご一緒することもよくあるのではないですか。

西岡 なかなか会う機会は少ないのですが、アメリカで一緒に練習をさせていただいたり、家に招かれて食事をさせていただいたことがありました。

市長 尊敬する先輩ということですね。

西岡 もちろんそうです。



スポーツ留学で単身アメリカへ

市長 アメリカではIMGアカデミーにスポーツ留学をされていました。そのころのことについて、お話しください。

西岡 IMGアカデミーには、テニス以外にもいろいろなスポーツのプログラムがあり、世界中からトップ選手が集まってきます。テニスも同年代をはじめ、年上の選手やトッププロまで幅広くたくさんの選手が参加しているので、毎日違う選手と練習ができたり、自分よりも上のレベルの人と練習ができるということが自分にとってすごく良かったと思います。

市長 フロリダでしたね。現地では一人暮らしをなさっていたのですか。

西岡 他の何人かの選手と寮で一緒に生活していました。



よしひと プロテニスプレーヤー 西岡 良仁さん

津市出身。1995(平成7)年生まれ。養正小学校、橋北中学校を経て青森山田高等学校へ進学。2010年9月からIMGアカデミー(アメリカフロリダ州)へスポーツ留学し、2014年1月にプロテニスプレーヤー(ヨネックス所属)に転向。2008～2012年ジュニア・ナショナルチームメンバー(JTA)、2013年11月全日本テニス選手権大会準優勝(10代では24年ぶりに決勝進出)、平成25年度日本テニス協会ジュニア大賞受賞。ATPランキング・シングルス153位(2014年12月1日現在)、JTAランキング6位(2014年12月1日現在)。